

【名古屋学院大学生による】

東日本大震災復興支援ブースの出店！

名古屋学院大学では、2016年11月19日（土）、20日（日）の2日間、10時00分～16時00分、白鳥庭園の芝生広場で開催される、「ファーム・エイド名古屋 2016」の白鳥マルシェ内「がんばろう！東北×ファームエイド銀座&名古屋応援プロジェクト」において、東日本大震災復興支援を目的としたブースを出店します。ブース内では本学学生が「てりサメむすび（1個100円、1日50個限定）」と「オーガニックコットン製品 200点」の販売を行います。

【出店ブース】

■てりサメむすびの販売

てりサメむすびの開発は、「復興支援インターンプログラム」において気仙沼市での水産加工業を体験した本学学生が「サメ肉を多くの人に食べてもらうには」と考え始めたのがきっかけでスタートしました。材料となるサメ肉（モウカザメ）は、宮城県気仙沼市にある「株式会社 足利本店」から直送されたもので、名古屋市瑞穂区「手作りおにぎり駒の屋」のご協力により昨年12月の試食会を経て完成しました。低カロリー・高タンパクなサメ肉を甘い照り焼きにした具は、鶏のささみに似ており、しっかりとした食感を楽しめます。11月19日（土）・20日（日）の2日間、1個100円で1日限定50個の販売です。



■オーガニックコットン製品販売

「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」は、有機栽培で育て収穫されたコットンを製品化・販売することで福島に活気と仕事を生み出そうする取り組みです。プロジェクトでは、中に種が入っている「コットンベイブ（写真右端）」と名付けられた小さな人形を販売し、全国各地で購入した人に「中に入っている種を植えて収穫したコットンを福島に送ってもらう」という試みが行われています。本学瀬戸キャンパスでも、学生数名がサークル活動としてこのコットンの栽培に取り組んでいます（県内大学で組織的に活動しているのは本学のみ）。11月19日（土）・20日（日）の2日間、コットンベイブ人形を中心として、ハンカチ、タオル、日本手ぬぐい、Tシャツなどのオーガニックコットン製品 200点を販売します。



＜東日本大震災復興支援ブースの出店＞

【日 時】2016年11月19日（土）、20日（日） 両日とも 10:00～16:00

【場 所】白鳥庭園 芝生広場（名古屋市熱田区熱田西町2番5号）

＜ファーム・エイド名古屋 2016＞ 白鳥マルシェ内ブース